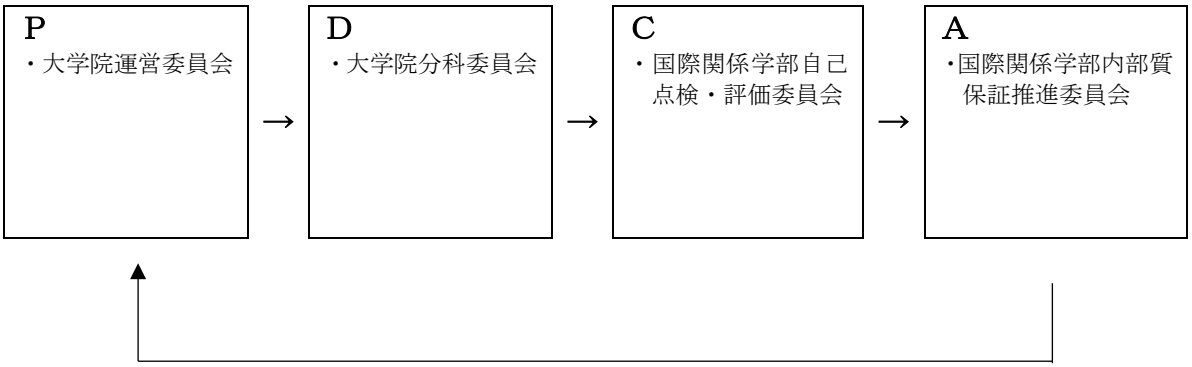
令和７年度全学自己点検・評価報告書

学部等名　　大学院国際関係研究科

基準２ 内部質保証

１　内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し，改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名（例：教授会，自己点検・評価委員会，内部質保証推進委員会等）を明記してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。

＜評価の視点＞

・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪　学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

国際関係研究科では，大学院独自で教育の内部質保証システムの構築が困難なため，大学院国際関係研究科運営委員会と国際関係学部の学務委員会，ＦＤ委員会，国際関係学部自己点検・評価委員会等と連携し，教育の内部質保証システムの構築に努めている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

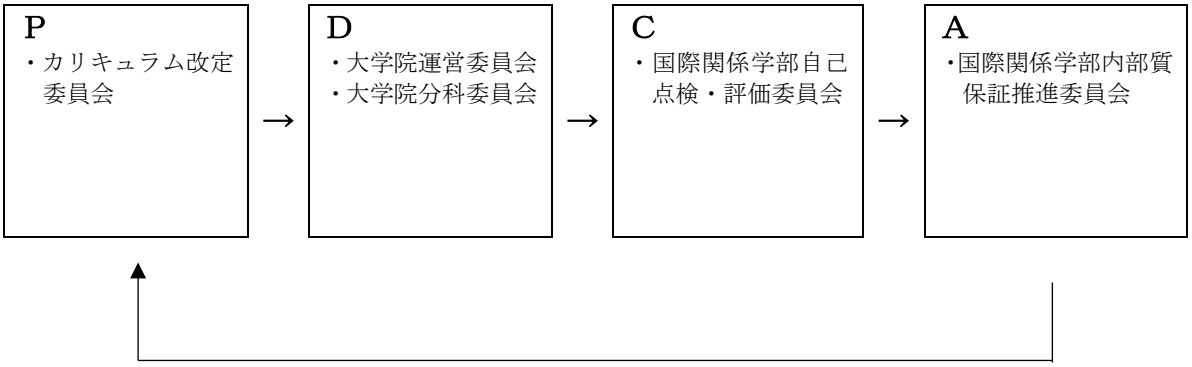
令和６年度大学評価（認証評価）結果において，博士前期課程では，教育課程の実施に関する基本的な考え方を示していない，博士後期課程では，編成及び実施に関する基本的な考え方を示していないとの提言が付されている。そのため，教育課程の編成・実施方針を適切に定め

るよう，内部質保証体制を機能させ，改善することが求められる。

「教育課程の編成・実施方針」については，大学院運営委員会及び大学院分科委員会において改善策を検討し，令和７年度中に改善を行うべく，現在見直しを行っている。

基準３ 教育研究組織

１　教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑫　学問の動向や社会的要請等に対応すべく，学科や研究所の新設，学科の改組等，教育研究組織の見直しについて，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

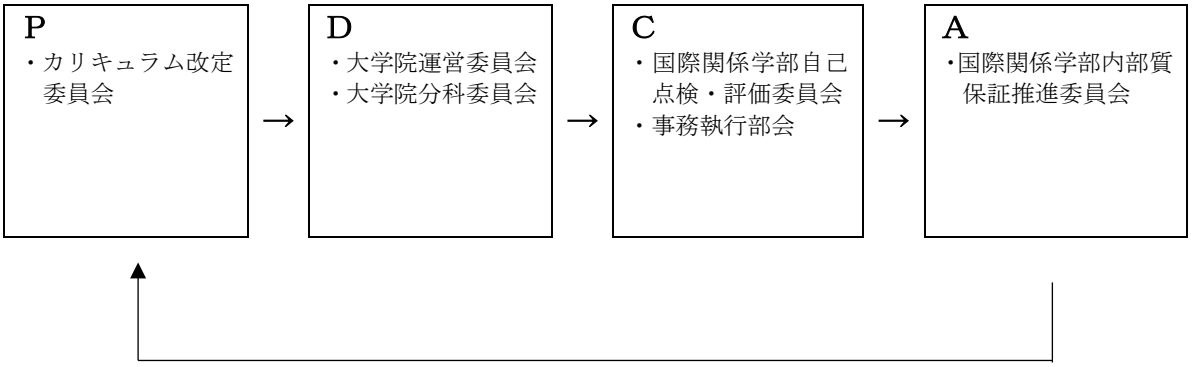
事務執行部会，国際関係学部自己点検・評価委員会，国際関係学部内部質保証推進委員会等による検証は，現時点では行われていない。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準４ 教育・学習

１　教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。**
- **課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。**
- **自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。**

㊶　教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

事務執行部会，国際関係学部自己点検・評価委員会，国際関係学部内部質保証推進委員会等による検証は，現時点では行われていないため，見直しを図っていく。

㊸　教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

国際関係研究科では，教育課程及びその内容，方法の適切性について定期的に点検・評価をする仕組みがなく，学務委員会やカリキュラム改定委員会において教育課程（カリキュラム）改定の際に，教育課程及びその内容，方法を検証し，教育課程の改善・向上の参考にしているのが現状である。

また，教育の内部質保証のために，大学院生の学修状況を把握するための調査等を毎年度実施し，調査等によって得た情報は，研究の進捗状況との関連性の確認を行い，学修状況の改善を図る。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

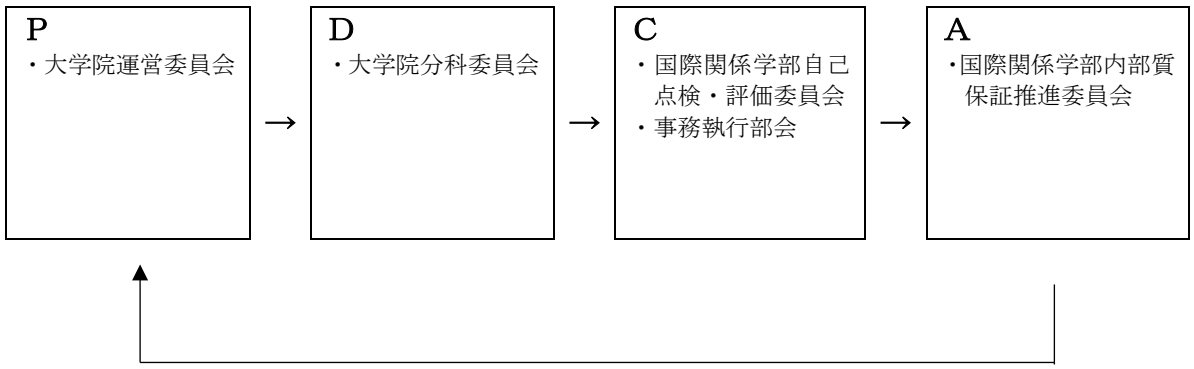
【提言（改善課題）】

令和６年度大学評価（認証評価）結果において，「教育課程の編成・実施方針について。国際関係研究科博士前期課程では，実施に関する基本的な考え方を，国際関係研究科博士後期課程では，編成及び実施に関する基本的な考え方を示していない」と提言が付されているため，改善が求められる。

「教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）」については，大学院運営委員会及び大学院分科委員会において改善策を検討し，令和７年度中に改善を行うべく，現在見直しを行っている。

基準５ 学生の受け入れ

１　学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊾　学生の受け入れに関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

国際関係研究科では，大学院運営委員会で対策を検討し，国際関係学部からの志願者数を増やすことを焦点に，大学院進学説明会等への学部生参加をポータルサイトや学内掲示で周知している。その結果，若干ではあるが以前に比べ参加者数が増え，特に学部２年生や３年生の参加者数が多くなった。また，博士前期課程標準コースにおいて，学内推薦入学試験を導入し，成績の基準を満たしていれば，国際関係学部をはじめとする他学部からも学内推薦入学試験を受験できるようにした。

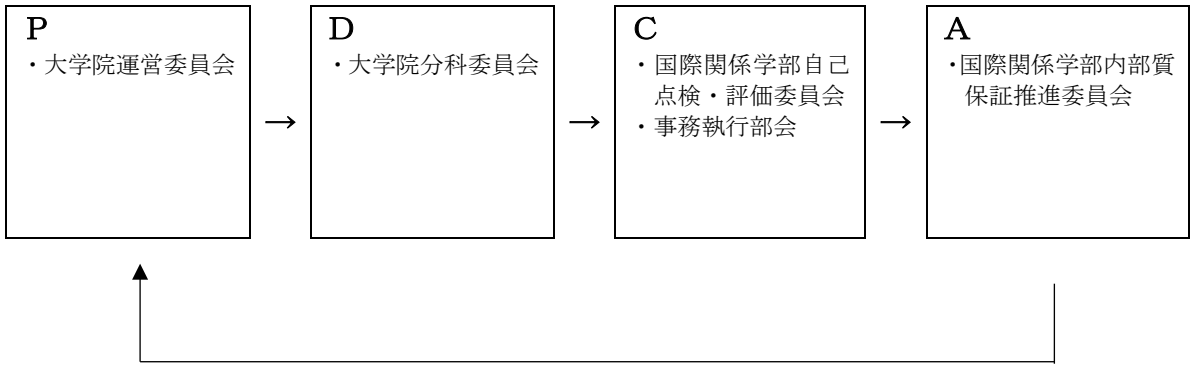
事務執行部会，国際関係学部自己点検・評価委員会及び国際関係学部内部質保証推進委員会等による検証は，現時点では行われていないため，見直しを図っていく。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準６ 教員・教員組織

１　教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

国際関係研究科では，教員及び教育の質を維持・向上させるため，自身の研究内容等を発表する「学際研究会」を実施している。従来は主に新任教員が発表を行っていたが，令和７年度からは新任教員に関わらず，新任教員以外の教員も発表を行った。意見交換を活発に行い，自身の研究内容の促進及び改善等に役立てている。

事務執行部会，国際関係学部自己点検・評価委員会及び国際関係学部内部質保証推進委員会等による検証は，現時点では行われていないため，見直しを図っていく。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

記述によれば，教職それぞれが「与えられた使命」に基づき協力しながら業務を遂行しており，役割分担については各委員会で一定程度決められているものの，責任の明確化という点では十分に体系化されていないため，改善が求められる。

問題発生時には関係する委員会や部署と連携して対処しているものの，平時の業務における教職間の責任範囲や役割分担が明確化されていないことは，業務の属人化や非効率の要因となる可能性がある。

ガイダンス内容は主に業務説明と注意喚起にとどまっており，教育支援者としての資質向上を図る体系的な研修（例：学生対応スキル，守秘義務，ハラスメント防止等）の実施に係る記述が確認できない。ＴＡ制度の質的向上を図る観点からは，研修の計画的実施や業務後のフィードバック体制の整備が今後の課題である，改善が求められる

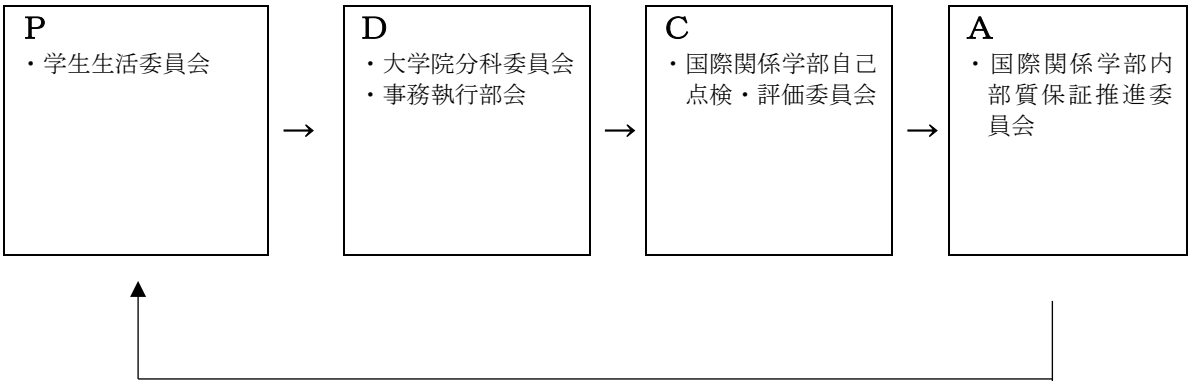
大学院運営委員会からの提言により，大学院担当教員を対象に年度末に活動状況報告を実施し，教育・研究の振り返りを行い，次年度以降の大学院運営の改善を目指す。

ＴＡのガイダンスにおいては，日本大学行動規範を配布し，内容の確認を行っている。学生に対する言動等のハラスメントの注意喚起，学生の出席・成績情報及びレポートの採点情報等の知り得た情報についての守秘義務を徹底するよう周知している。今後は，教育支援者としての資質向上を図るべく，本部作成の教学運営方針・自主創造の基礎動画等の受講を推進していきたいと考える。

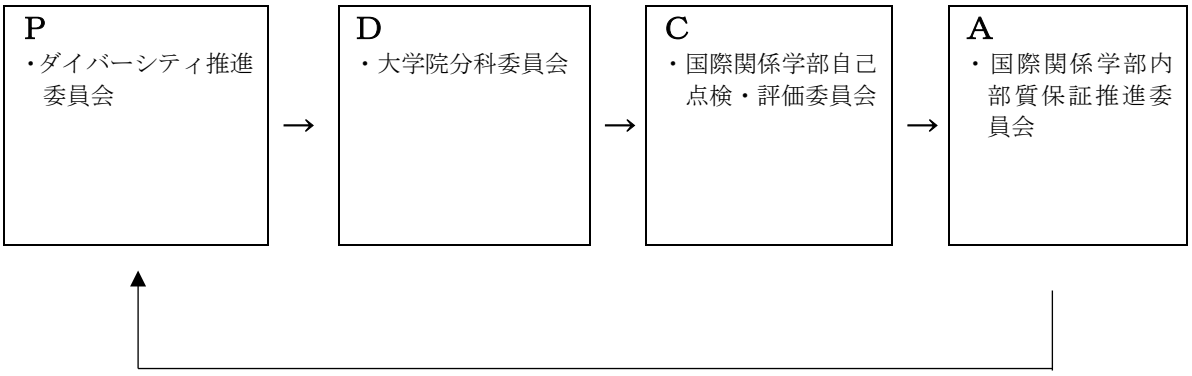
基準７ 学生支援

１　学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

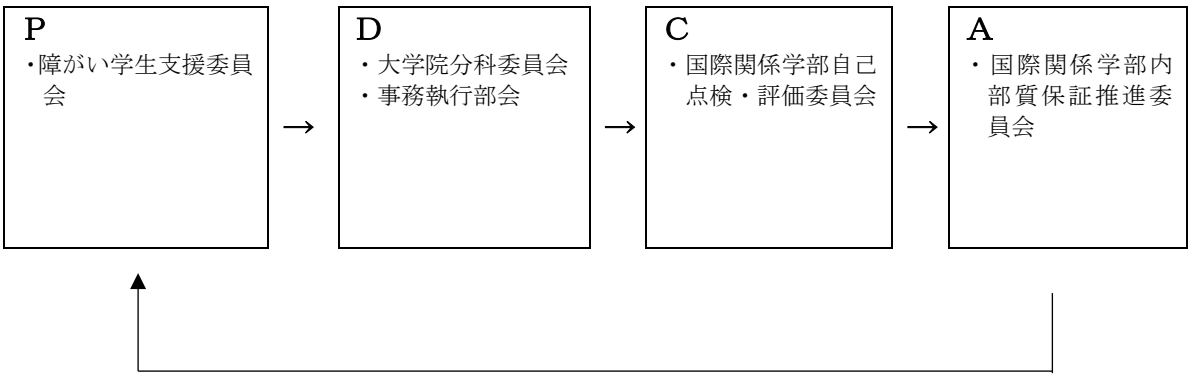
【学生の交流機会の確保，正課外における部活動及びボランティア活動の活性化】



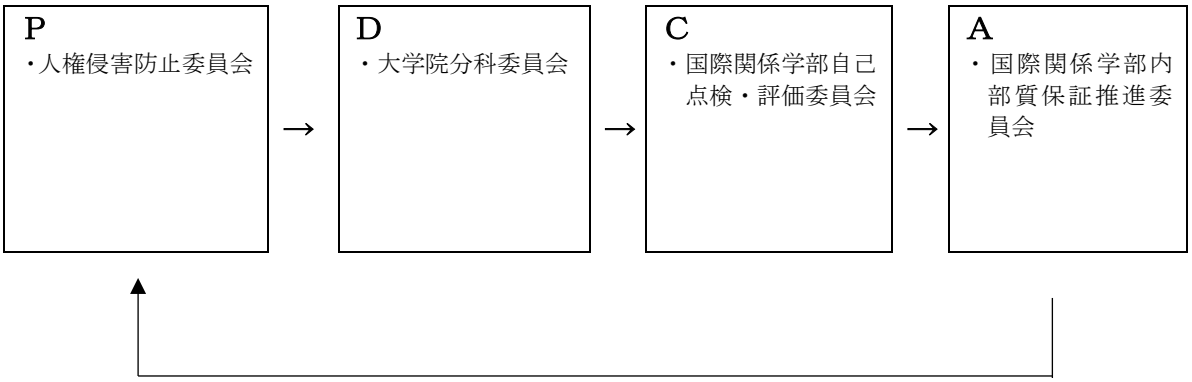
【学生に対する経済的支援（三島市による生理用品の支援)】



【障がいのある学生の基本的人権の保障】



【学生へのハラスメント防止，学生のプライバシー権の保障】



2　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

㊽　学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

令和６年 10 月４日に国際関係学部自己点検・評価委員会，令和６年 10 月 11 日に国際関係学部内部質保証推進委員会をそれぞれ開催し，学生支援に関わる事項について，点検・評価を実施した。

学生支援の向上を図った事例として，本学部では，令和７年度から「キャンパス活性化」というスローガンを掲げ，その一環として学生の正課外における部活動及びボランティア活動をバックアップする取組を開始している。具体的には，音楽活動や演劇活動を行う学生団体を支援する目的で，三島駅北口校舎の大教室用に，高性能の音響機器を導入した。また，ボランティア活動については，外部から募集が寄せられた際，本学部学生の派遣を依頼する内容のものについては，学生生活委員会で審議に諮り，その安全性や活動意義を精査した上で周知するようにし，学生に安心してボランティア参加してもらえるよう，募集受付から周知までの仕組みを見直した。

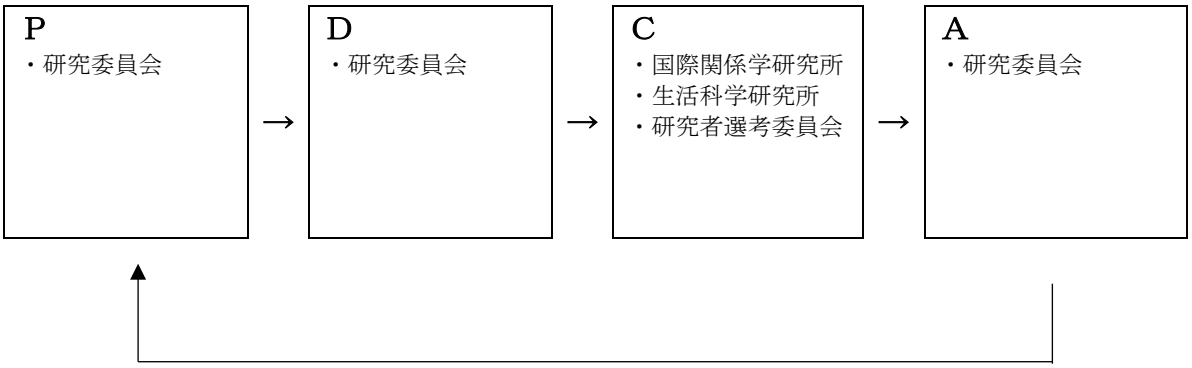
また，留学生と日本人学生の交流を目的として開催している異文化交流会について，以前は後学期に開催していたが，留学生の増加に伴い，学生同士が入学後早期に交流の機会を得られるよう，令和７年度は開催日程を前学期に変更した。その結果として，同時期に受け入れている海外提携校からの短期留学生も参加できるようになり，交流の幅が広がった。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準８ 教育研究等環境

１　研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑭　研究等環境に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

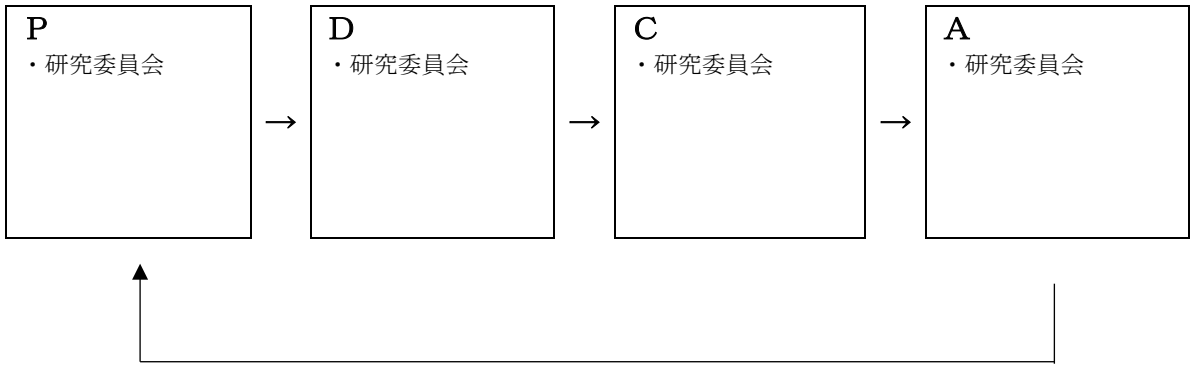
本学部研究者選考委員会で新年度の学部個人研究費申請書の内容を審議し，研究実施状況及び成果物については国際関係研究所・生活科学研究所において点検の上，本学部研究委員会で必要に応じて各研究所の点検結果にて検討が必要な事項や科研費採択時の懸案事項を検討し，改善策を計画し実行に移している。過去の事例としては，キャンパス内の共同研究を推進するために共同研究費を制定した上で，共同研究採択者に科学研究費助成事業への申請を義務付けることで改善を図った。また，個人研究費の給付額に傾斜配分を導入することでインセンティブを付した。当初はこの導入により，増額要件である科研費の申請件数に増加がみられ，今年度についても昨年度に比べ微弱ではあるが，申請件数が増加した。しかし，採択件数は昨年度より減少したため，採択件数増加の改善が必要と考える。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準９ 社会連携・社会貢献

１　社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑯　社会連携・社会貢献に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

地域社会への連携・貢献事業の開催内容については，研究委員会で点検・評価を実施している。点検・評価の対象となるものは，地域住民を対象とした「市民公開講座（前期・後期に各４回)」や「エクステンション講座（前期・後期に各講座５回)」であるが，次回以降の内容を充実させるため，毎回講座終了後には受講者へのアンケート調査を実施している。その結果を研究委員会で精査し，次回以降の講座の企画立案に反映させるように努めている。アンケートからスポーツ関連の技術向上を目的とした講座を開講してほしいとの要望を受けて，令和６年度より取り入れた「エクステンション講座」の「ゴルフ講座」は，受講者に好評で，次年度以降の開講と参加を希望する意見が多数出された。また，受講者からの要望や講座をお願いしている講師の提案に基づき，今年度後期は初級よりレベルアップした「エクステンション講座」を用意したが，受講者数が減少したため，研究委員会にて開講内容を精査し，より多くの参加者に興味を持ってもらい，参加していただけるような内容とすべく，改善・向上に努めることとする。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし